

# 平成27年度中学生チャレンジテストの結果概要

大阪府教育委員会

## ○学力に関する調査

- ・中学校第1学年: 国語、数学、英語
- ・中学校第2学年: 国語、社会(選択問題A・B)  
数学、理科(選択問題A・B)、英語

## ○学習状況に関する調査

- ・生徒アンケート

## ○調査対象

- ・中学校及び支援学校中学部第1学年
- ・中学校及び支援学校中学部第2学年

## ○実施校数(1月13日実施分)

- ・中学校第1学年: 475校
- ・中学校第2学年: 472校

## ○実施生徒数(1月13日実施分)

- ・中学校第1学年: 68,807人
- ・中学校第2学年: 70,222人

### 中学校1年【国語】

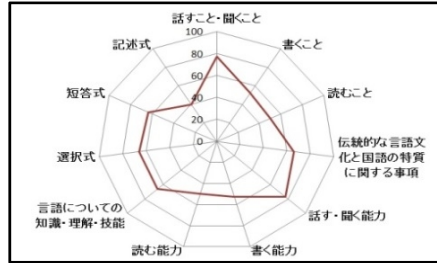
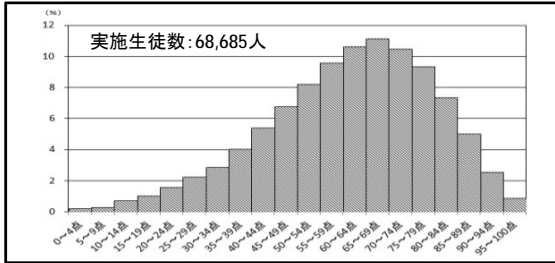
平均点

61.0点

無解答率

6.3

- 学力の分布は、65～69点を頂点とする山型です。
- 「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については良好な結果でした。
- 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することや伝えたい事柄について、自分の考えを、根拠を明確にして書くことに課題が見られます。



### 中学校2年【国語】

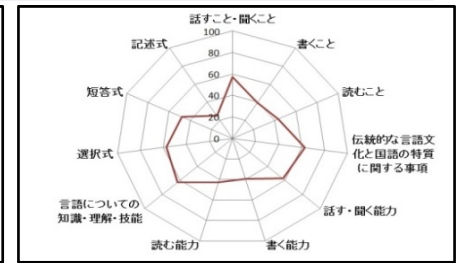
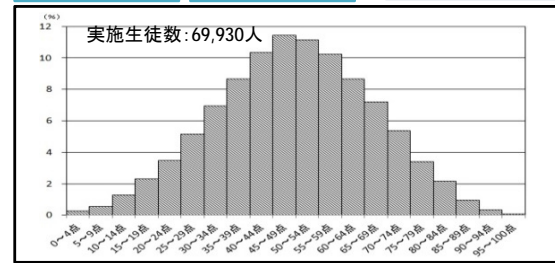
平均点

49.2点

無解答率

12.4

- 学力の分布は、45～49点を頂点とする山型です。
- 「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については良好な結果でした。
- 文章の全体と部分の関係をとらえることや、相手に伝わるように自分の意見を、根拠を明確にして書くことに課題が見られます。



### 中学校1年【数学】

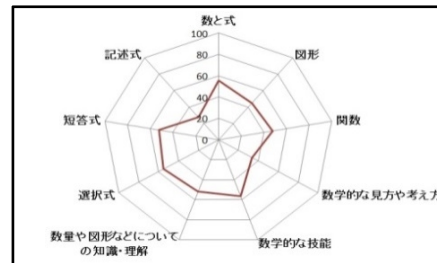
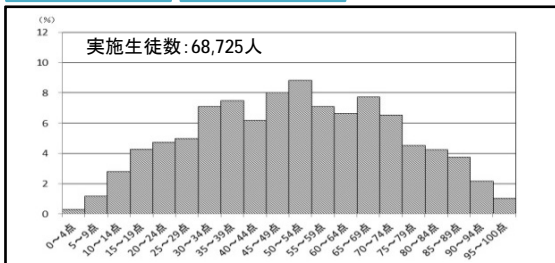
平均点

51.0点

無解答率

5.0

- 学力の分布は、50～54点を頂点とする山型です。
- 「数と式」については良好な結果でした。
- 具体的な事象から取り出した二つの数量の変化や対応の特徴をグラフからとらえ、説明することに課題が見られます。



### 中学校2年【数学】

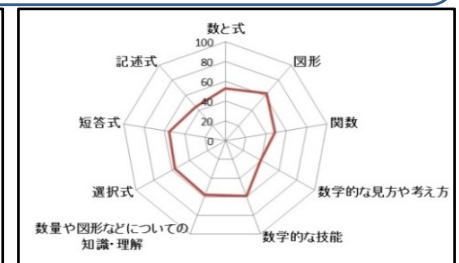
平均点

54.7点

無解答率

8.0

- 学力の分布は、得点の高い方に寄った山型です。
- 「図形」については良好な結果でした。
- 事象と式の対応を的確にとらえ、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られます。



### 中学校1年【英語】

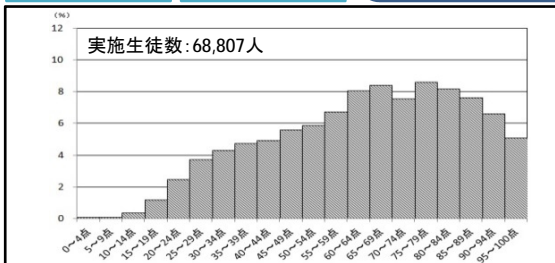
平均点

63.5点

無解答率

3.5

- 学力の分布は、頂点が得点の高い方に寄った山型です。
- 「聞くこと」については良好な結果でした。
- 基本的な文の仕組みや、会話等の内容を理解した上で、適切な英文を書くことに課題が見られます。



### 中学校2年【英語】

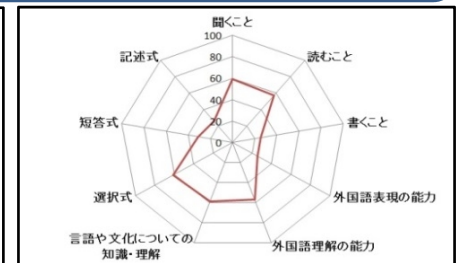
平均点

54.8点

無解答率

4.1

- 学力の分布は、台形型になっています。
- 「聞くこと」「読むこと」については良好な結果でした。
- 基本的な文の仕組みや、会話等の内容を理解した上で、適切な英文を書くことに課題が見られます。



### 中学校2年【社会A】

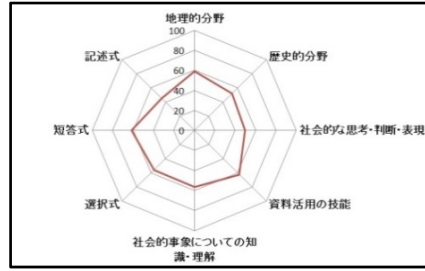
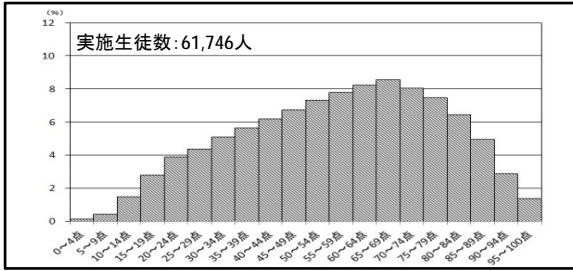
平均点

56.5点

無解答率

6.5

- 学力の分布は、頂点が得点の高い方に寄った山型です。
- 「地理的分野」については良好な結果でした。
- 地図やグラフで示されている情報を適切に読み取ることや、図をもとに考察し、適切に表現することに課題が見られます。



### 中学校2年【理科A】

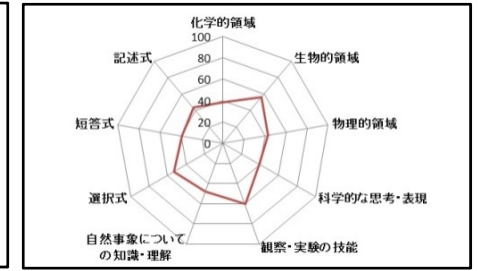
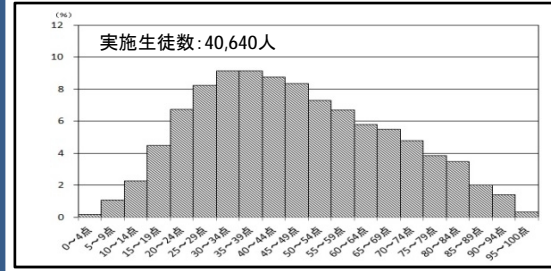
平均点

46.5点

無解答率

6.9

- 学力の分布は、頂点が得点の低い方に寄った山型です。
- 「生物的領域」については良好な結果でした。
- 現象や実験手順の意味を科学的にとらえ、既習の知識をもとに見通しを持つことに課題が見られます。



### 中学校2年【社会B】

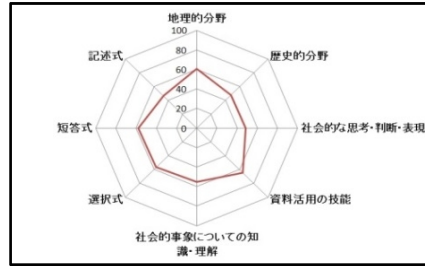
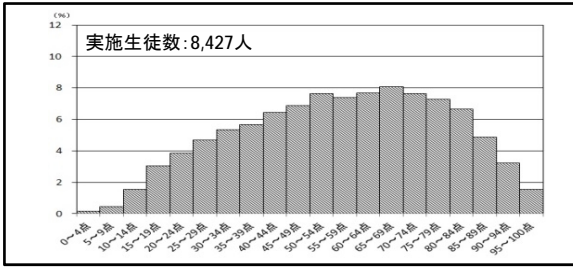
平均点

56.1点

無解答率

6.2

- 学力の分布は、頂点が得点の高い方に寄った山型です。
- 「地理的分野」については良好な結果でした。
- 地図やグラフで示されている情報を適切に読み取ることや、図をもとに考察し、適切に表現することに課題が見られます。



### 中学校2年【理科B】

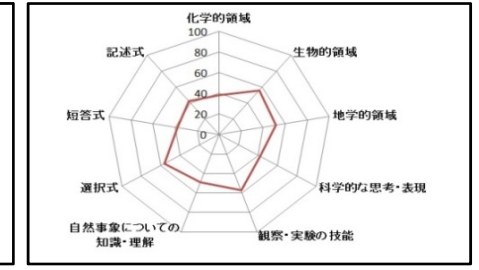
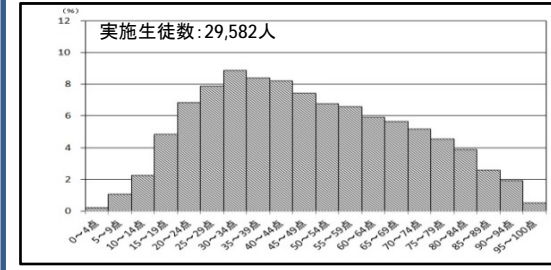
平均点

47.6点

無解答率

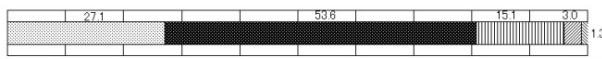
7.2

- 学力の分布は、頂点が得点の低い方に寄った山型です。
- 「生物的領域」「地学的領域」については良好な結果でした。
- 現象や実験手順の意味を科学的にとらえ、既習の知識をもとに見通しを持つことに課題が見られます。

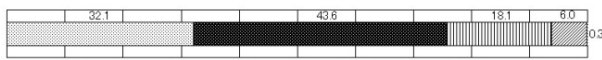


### 平成27年度 中学校1年 アンケート結果

国語の授業の内容はよく分かる。



数学の授業の内容はよく分かる。

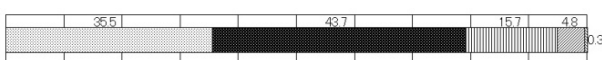


英語の授業の内容はよく分かる。

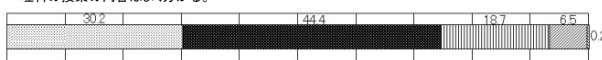


### 平成27年度 中学校2年（社会・理科） アンケート結果

社会の授業の内容はよく分かる。

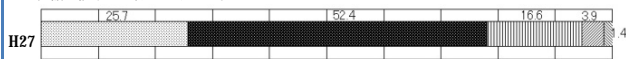


理科の授業の内容はよく分かる。

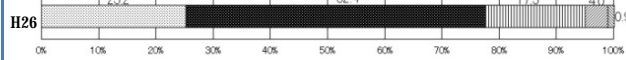


### 平成27年度 中学校2年と平成26年度 中学校1年 アンケートの結果比較

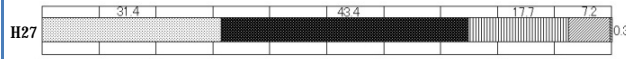
国語の授業の内容はよく分かる。



数学の授業の内容はよく分かる。

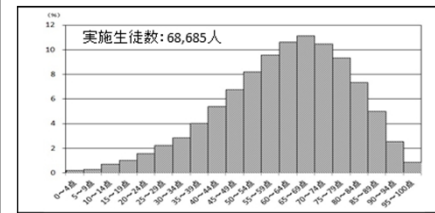


英語の授業の内容はよく分かる。

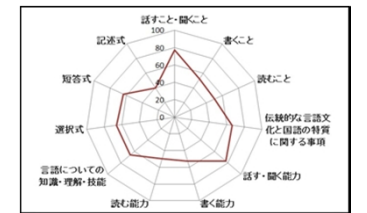


○ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない ◻ 当てはまらない ◻ その他 無回答

### データの見方



【ヒストグラム】  
5点ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示したもの



【レーダーチャート】  
「領域」や「評価の観点」、「問題形式」別の結果のそれぞれの配点に対する割合を線で結んだもの

■本調査の結果とともに、「ワークブック」や「かだめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育委員会 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。  
ワークブック <http://www.osaka-c.ed.jp/kate/karicen-folder/workbook-for-pref/workbook-index.html>  
かだめしプリント <http://www.prof.osaka.lq.jp/shochugakko/chikarasuyoukai/index.html>

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。